

山 広報 平成27年(2015)

4 月号 No.694

きなりの郷とは… 純粹、素朴、まざりけのないと言った意味で、「本物の暮らしのある村」という願いを込めた言葉です。

下北の御

下北山



平成27年度 施政方針

平成27年3月議会定例会の開会に当たりまして、平成27年度の予算案について基本的な考え方と概要について申し述べ、村議会並びに村民の皆様のご理解とご協力をお願いするものであります。

我が国の経済状況について、平成27年2月に発表された内閣府の月例経済報告では、「景気は、個人消費などに弱さがみられるが、緩やかな回復基調が続いている。」との見方が示され、また、日銀発表の地域経済報告においても、景気情勢において全国的に「回復」という表現が盛り込まれております。しかしながら、景気回復の実感、地方隅々にまで行き届いていないとはまだ言えない状況であります。

このような状況を踏まえ、第二次安倍内閣は、我が国における急速な少子高齢化の進行に的確に対応し、日本全体、特に、地方の人口の減少に歯止めをかけることともに、東京一極集中を是正し、それぞれの地域で住み良い環境を確保

して、将来にわたって活力ある日本社会の維持を目的として、今後目指すべき将来の方向を提示する「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」とこれを表現するための今後5か年の目標や基本的な方向等を提示する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を平成26年12月に閣議決定しました。あわせて、地方創生を国と地方が一体となり、中長期的視野に立って取り組み、中長期的視野に対して具体的な施策をまとめた「地方版総合戦略」の策定を要請しているところであります。

国の平成26年度補正予算、新年度予算において、これらの関連事業が盛り込まれ国の新年度予算は、一般会計総額が96兆3千420億円と過去最大の歳出規模となり、国の地方経済活性化への後押しが地方経済にも及ぶことが期待されるところであります。

本村といたしましても、こうした国の流れを注視しつつ、下北山村発展のため、また村民の皆様が日々の生活を明るく豊かに送れますよう、本村の地域特性や可能性をしっかりと生かした地方創生に取り組んでいく必要があります。

振り返れば平成の大合併の流れやリーマンショック等地方財政を取り巻く環境は大きく変化するとともに一層厳しさを増しましたが、行財政改革に取り組んだ結果、財政の健全化を表す3か年平均の実質公債費比率は11・9%（25年度単年度では7・1%）、将来負担比率はマイナス152・2%、財政構造の弾力化を示す経常収支比率は78・4%と、財政指数の着実な改善に見られるように行政基盤の強化を図ってきました。

しかしこれからは、人口減少や超高齢化の進行に伴う地域活力の衰退、公共インフラ等の老朽化など、多くの社会的課題に対して、自らの知恵とアイデアを絞って、これらの課題解決に向けて立ち向かい、「地域の力」が一体となって、ふるさとの創生に挑戦していかなくてはなりません。

それでは、平成27年度予算案とその主な取り組みについてご説明いたします。

平成27年度当初予算案は、一般会計で15億9千700万円、前年度比10・5%の増となっております。

特別会計7会計の合計は、

6億7千268万円、前年度比13・8%の増となっております。一般会計、7特別会計の合計では、22億6千968万円、前年度比11・5%の増額となっております。

一般会計の歳入では、まず村税ですが、法人税はやや増額となるものの、固定資産税は電源開発の償却資産の減少に伴い減額となっております。

起債については、南和広域医療組合の病院の建設事業にかかる過疎債等が1億2千880万円あり、これが大きな増額要因となっております。なお、過疎債の返還金のうち交付税に算入されない村負担分については奈良県から補助があります。

平成27年度の主な事業ですが、総務費では、人事評価制度構築支援業務の委託をおこない、平成28年度から導入されることになっている人事評価制度に対応していきます。

また、昨年度に引き続き婚活支援事業を実施し、未婚者の婚活を支援していきます。

サポートきなり運営費として、集落支援員、地域おこし協力隊の人件費を計上しており、サポートきなりの活動を支援していきます。

水力発電交付金事業につきましては、今年度はスポーツ公園改修事業のための基金に積立をおこないます。

選挙費につきましては村長及び村議会議員選挙費、奈良県知事及び県議会議員選挙費を計上しております。

統計調査費につきましては、今年度は5年に一度の国勢調査が行われる年となりますのでその経費を計上しております。

老人福祉費では、高齢者の方がいつまでも健康で生活していただくための支援として、老人クラブへの補助金、生きがいと健康づくり推進事業補助金、介護予防生きがい活動補助金等を計上しております。

児童福祉費では、子育て支援事業として育児サークルにかかる補助員の配置や、臨床心理士を招いての講演、プレイルーム玩具買い替え等子ども子育て支援事業を推進します。

児童福祉施設費では老朽化した保育所送迎バスの買い替えを行い安全な園児の送迎に努めます。

福祉医療事業では、子どもたちが安心して必要な医療が受けられるよう乳幼児から中学3年生まで子ども医療費の助成を引き続き

実施いたします。

保健衛生事業では、平成26年度同様、健康と長寿の集いをはじめ、各種検診や予防接種等の予算を計上しています。

母子衛生事業では、出産から子育てまで、母子の健康と乳幼児の健全な発育発達を支援するための事業をおこないます。

そのほか保健衛生費では、南和広域医療組合の病院建設に伴う負担金を計上しております。

大淀町福神地区に建設されます新病院、「南奈良総合医療センター」につきましては平成28年3月竣工予定です。

農林水産業関係では、有害獣対策については、「銃の所持許可の取得に係る補助金」を新設したほか、猟友会の協力を得ながら積極的に実施していきます。

林業関係では、引き続き「県産材生産促進補助金」や「森林整備地域活動支援交付金事業」、「美しい森林づくり基盤整備交付金事業」等、国や県の補助金を活用した森林整備を進めていきます。

林道整備では、「林道五田刈線舗装事業」のほか継続事業として、「林道四ノ川2号線環境保全事業」、「トボト谷線環境保全事業」を実施いたします。

商工・観光関係では、引き続き村の代表的なイベントである「さくら祭」や「夏祭り」、「イルミネーション」に助成をおこないます。

また、利用が増加しているスポーツ公園人工芝グラウンドに防球ネットを設置いたします。

土木関係では、河川の砂利除去推進のための「コモ谷土砂処分場整備事業」を実施します。

村道では「村道大小井ウノス線災害防除工事」、「村道南池原線舗装改良工事」のほか昨年度に引き続き「村道前鬼釈迦線道路改良工事」、「村道池郷線災害防除工事」を実施いたします。

教育関係では、小学校の複式学級解消のため、引き続き村費教員を配置するほか、老朽化しているスクールバス1台を、10人乗りのスクールバスに入れ替えます。

保健体育事業では、引き続き子ども駅伝や少年野球チームへの支援をおこないます。

文化財保存事業では、昨年度、村の歴史を保存するための古文書（西尾家年代記）の発刊を予定しておりましたが、編纂の作業をしてきておりましたが後呂先生が死去され、平成26年度事業として実施することができませんでした。その後、後呂先生の教え子で資料

の編纂を引き継いでくださる方がおられましたので、今年度事業として実施いたします。

簡易水道特別会計では、昨年度に引き続き、「佐田・桑原地区簡易水道整備事業」を実施していきます。

池の平公園管理運営特別会計では、ゴルフ場の利用者の減少に伴い経営環境が悪化していることから池の平公園管理料の大幅な増額をしております。

スポーツ公園管理運営特別会計では、きなりの湯駐車場転落防止用防護柵設置工事を実施いたします。

以上、平成27年度の当初予算案に計上しております主な事業について申し上げます。

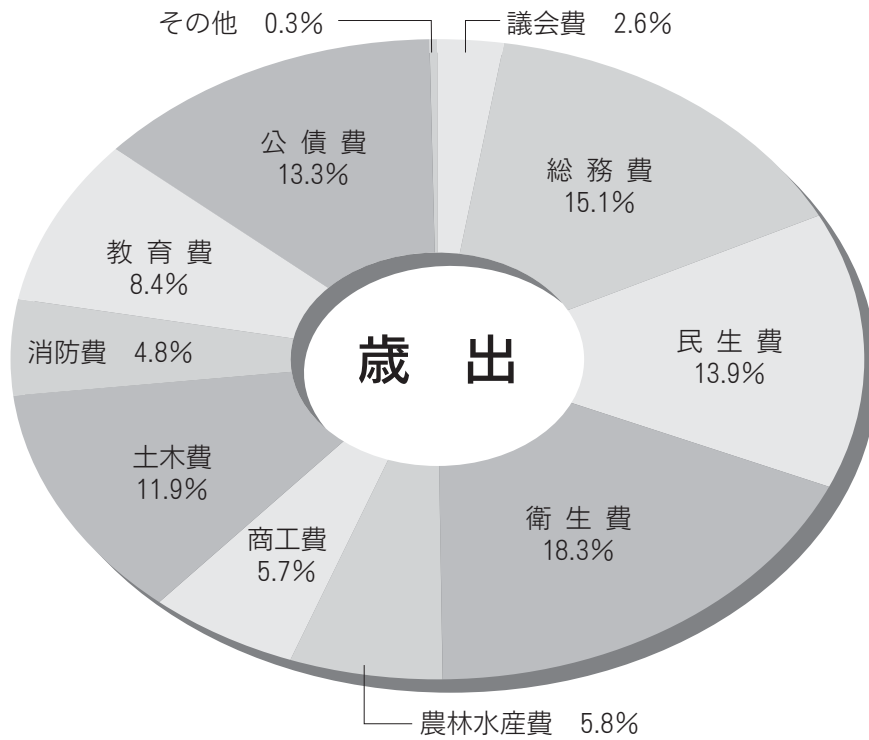
議員の皆さまをはじめ、村民の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



6,968万3千円 (対前年度11.49%増)

27年度当初予算の概要は次のとおりです。

円 (対前年度10.52%増)



一般会計 (歳出・目的別)

(単位：千円)

議会費	総務費	民生費	衛生費	農林水産費	商工費	土木費	消防費	教育費	公債費	その他	合計
41,921	240,680	222,050	291,779	92,008	90,945	190,195	76,634	133,939	211,700	5,149	1,597,000

その他の内訳

労働費	予備費	計
360	4,789	5,149

一般会計 (歳出・性質別)

(単位：千円)

人件費	物件費	維持補修費	扶助費	補助費等	普通建設事業費	公債費	積立金	投資及び出資金	貸付金	繰出金	予備費	合計
347,306	209,513	9,277	37,349	344,983	201,606	211,700	16,614	0	5,540	208,323	4,789	1,597,000

基金の状況 (一般会計分)

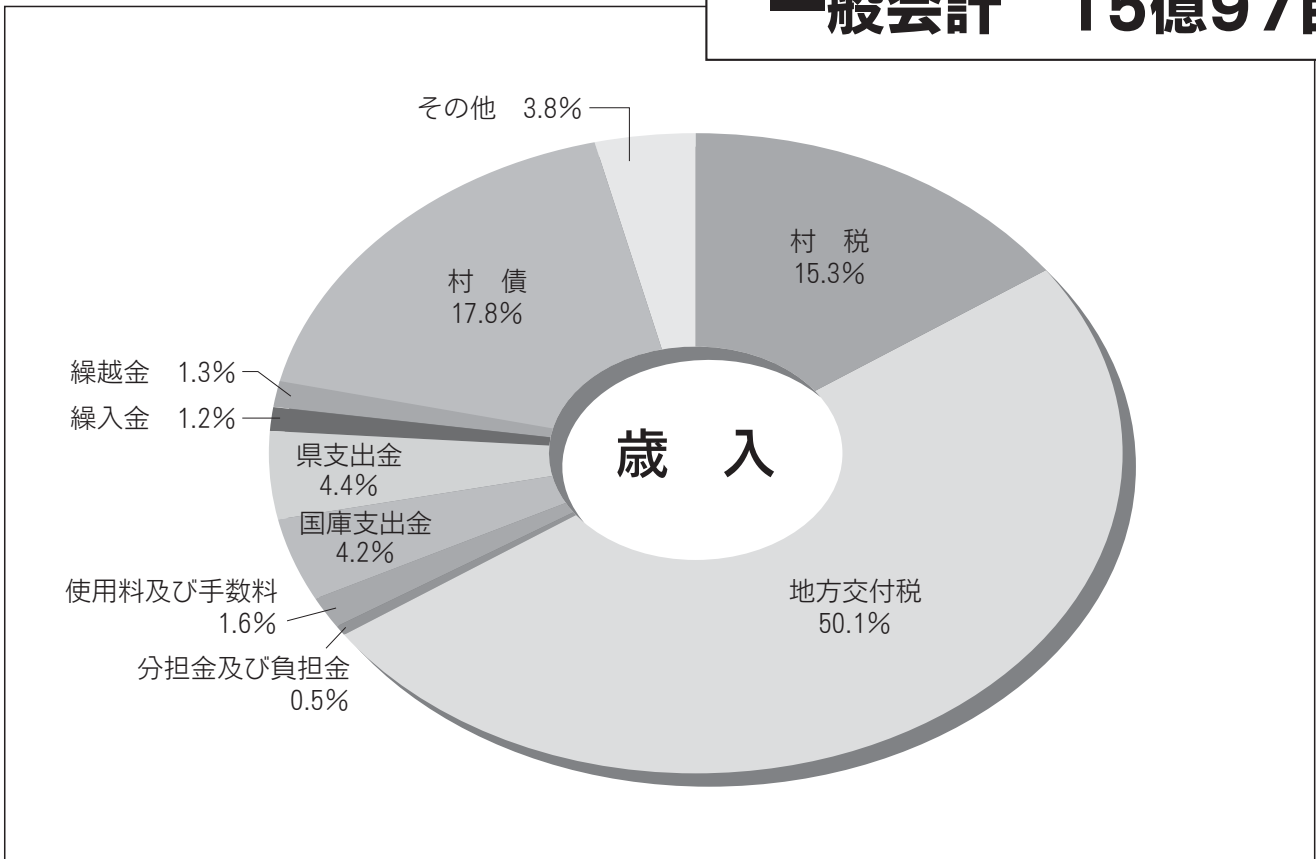
(単位：千円)

基金の名称	平成26年度末現在高(見込)	平成27年度末現在高(見込)	基金の名称	平成26年度末現在高(見込)	平成27年度末現在高(見込)
財政調整基金	1,352,816	1,336,543	公共施設基金	114,543	114,670
減債基金	105,612	107,612	消防団員特別出勤等基金	58,418	58,838
庁舎建設基金	298,705	299,155	漁業施設基金	20,200	18,400
地域福祉基金	250,366	251,666	その他	36,222	47,336
			計	2,236,882	2,234,220

平成27年度 当初予算 総額 22億

3月定例議会において承認された、平成

一般会計 15億97百万



一般会計（歳入）

(単位：千円)

村税	地方交付税	分担金及び負担金	使用料及び手数料	国庫支出金	県支出金	繰入金	繰越金	村債	その他	合計
244,452	800,000	6,040	24,863	67,805	69,747	19,276	20,000	284,800	60,017	1,597,000

その他の内訳

地方譲与税	交付金	財産収入	寄付金	諸収入	合計
12,120	15,344	12,356	1,501	18,696	60,017

※交付金…利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金
地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金

特別会計 6億7,268万3千円 (対前年度13.85%増)

(単位：千円)

	国民健康保険	診療所	簡易水道	池の平公園	スポーツ公園	介護保険	後期高齢者	合計
H27年度	149,116	87,155	160,455	13,119	59,600	182,392	20,846	672,683
H26年度	121,952	81,802	118,766	6,799	56,017	184,459	21,064	590,859
差額(千円)	27,164	5,353	41,689	6,320	3,583	▲ 2,067	▲ 218	81,824
前年度比(%)	22.27	6.54	35.10	92.95	6.40	▲ 1.12	▲ 1.03	13.85

人権教育 講演会開催



3月5日(木)、スポーツ公園若者センターにおいて、村民の方60名参加のもと、「人権教育講演会」が開催されました。

NPO法人「ならチャレンジ」代表の赤川義之氏を講師に迎え、『特別支援学校生徒と関わって』という演題で話をしていただきました。

赤川先生は、会社経営をしながらボランティア活動を通して、少しでも特別支援学校の子どもたちを就労に結び付けたいとの思いで、2010年2月、特別支援学



校生徒の社会参加と就労支援を目的に、NPO法人を立ち上げました。

活動の一環として、特別支援学校の生徒たちが、奈良県内の銀行や幼稚園、病院、レストラン等で職場実習に参加した様子や、差別をなくす町民集会で受付係を体験した様子などを、写真を交えてお話をされました。

最後に、特別支援学校の生徒たち一人一人の良いところを発見し、その良さを発揮できる社会をつくることや、生徒たちが地域社会においてつながりをもつことが大切であると話され、先生の朗らかな話しぶりやその内容に、参加された方は熱心に聴いていました。

村の部2位入賞!

第10回市町村対抗 子ども駅伝大会開催

つなげ友情のたすき



村の部2位入賞

3月7日(土)、馬見丘陵公園(河合町・広陵町)において、「第10回市町村対抗子ども駅伝大会」が開催されました。

今年は、県内39の全市町村の小学5、6年(特例で3・4年生含む)の児童約450人が参加しました。

コースは、男女4区間ずつの計8区間(約13キロ)を走る駅伝の部と、式典会場「集いの丘」の周りに、約1,500メートルで時間

を競う、タイムトライアルレースの部が行われました。
本村からも小学校の5・6年生13名が参加し、駅伝とタイムトライアルレースを競いました。保護者の方や沿道で見守る人たちの大きな声援を受けながら、最後まであきらめずに一生懸命に走りま

た。
駅伝の結果は、37チーム中過去最高の22位(記録は55分03秒)で、見事村の部2位に入賞しました。チーム全員が最後まであきらめることなく、駅伝に出られなかった選手のみまで頑張って、たすきをつなぎ合いました。

子どもたち
ちは、昨年以上に練習を重ねた成果がようやく実りました。本当によく頑張りました。このような大きな大会で走れたことは、良い思い出になります。



村長に結果報告



第5回

糖尿病

①



第5回目のテーマは、
糖尿病①です。

糖尿病という言葉はよくテレビや新聞、雑誌などで取り上げられているので、ご存知の方も多いと思います。また健康診断で糖尿病の検査ができますので、今までに指導されたことのある方も多いかと思えます。糖尿病はとても奥が深い病気なので、これから数回に渡ってお話していきたいと思えます。

ブドウ糖について

まず、糖尿病とはどんな病気なのでしょう？簡単に言うと血糖値が高くなり、全身に影響を及ぼす病気です。

寒い冬が終わり徐々に暖かくなってきましたね。はやいもので私が下北山村に住んで約1年が経ちました。たくさんの方と触れ合うことが出来て、幸せを感じております。ちょうど1年前には「さくら祭り」に参加させていただきました。満開の桜に感動したことを覚えています。

普段、皆さんが食べ物や飲み物を召し上がられると、体の中に入った食べ物は消化されて「ブドウ糖」という物質が作られます。このブドウ糖は体を動かすエネルギー源になるとも大切なものです。血液の流れによって体の細胞まで運ばれて筋肉や臓器で使われます。血糖値というのは、血液の中にどれくらいブドウ糖が含まれているか？ということ。私は疲れた時にチョコレートやお菓子を食べるととても幸せな気分にな

ります。みなさんも経験ありませんか？お腹がすいた時に糖質を食べると元気が出るのも、血液の中にブドウ糖が増えるからなのです。モノを記憶したり考えたりする臓器である脳はブドウ糖が唯一のエネルギーです。体全体で消費するブドウ糖の実に約20%を占めていると言われているのです。

インスリンとは？

皆さんに知っておいてもらいたいホルモンがあります。それがインスリンです。

ブドウ糖は人間が生きていく上でとても大切で、枯渇してしまうと死んでしまうこともあります。そのため体の中には血糖値を上げるホルモンや神経系がたくさんあります。一方で、インスリンは体の中で血糖値を下げる唯一のホルモンで、膵臓という臓器で作られています。皆さんが食事を取った後に血糖値が上がり過ぎないように膵臓からインスリンが分泌されます。このインスリンは血液中のブドウ糖をからだの細胞に送り込んで、活動エネルギーに変えま

あります。このようにインスリンは血糖値をある程度一定に保つように調整してくれるホルモンなのです。ところが、インスリンが不足したり、インスリンの働き具合が悪くなったりすると血液中のブドウ糖は細胞に取り込まれなくなって血糖値が高くなってしまいます。血糖値が高いと血管はダメージを受けていきます。それだけでなく、細胞へエネルギーを送ることができないため、筋肉や内臓でエネルギー不足になってしまうのです。インスリンが足りなかったり、効き目が弱くなったりしてしまふと体にとって色々困ったことが起きてしまうわけです。

今回は糖尿病①と題し、どういう病気なのか簡単に説明しました。ブドウ糖、インスリンなど普段は聞きなれない言葉で少し難しかったかもしれませんが、糖尿病の理解を深めてもらうための基本となる部分です。これから数回に渡って糖尿病が引き起こす症状や合併症などについて、ここで少しずつお話していきます。次回も楽しみにしててくださいね。

下北山村診療所 飯田実加

ご卒業おめでとうございます

早春のうらかな日差しの中、中学校では3月17日、小学校が3月23日にそれぞれ卒業式が行われました。

4月からは今までと違った環境のもとで、新しい学校生活が始まります。

特に中学校を卒業された皆さんは、故郷を離れ、親元を離れての高校生活です。

さまざまな不安や戸惑いなどもあると思いますが下北山で過ごした日々を忘れずに、精一杯頑張ってください。

なお、卒業された皆さんは次のとおりです。



【中学校】7名
 東田 朱朱
 ト田 朱朱
 翼 結
 中 麻花
 中 依花
 中 希奈
 和 田珠

【小学校】9名
 福本 啓人
 西岡 修門
 尾前 了守
 中村 大聖
 長井 麗貴
 東村 莉依
 中嶋 梨乃
 戸嶋 優作
 済木



医学の豆知識

僕のことを
 お忘れではありませんか？
 シェアカゴケグモです！

「シェアカゴケグモ」は、元々は日本に生息していないはずの生物（外来生物と呼びます）で、さらに毒グモです。1995年に日本国内で初めて大阪府高石市でその生息が確認されました。奈良県においても2002年に確認されており、今や全国47都道府県中37都府県で、その生息が報告されています。

セアカゴケグモの特徴は、その名が示す通りお腹と背中部分に帯状の縦方向に伸びる真っ赤な模様（縦条）です。これは「メス」だけにあり、「メス」だけが毒素を持っている。セアカゴケグモの性格は、非常におとなしい上に攻撃性はなく、驚かされたりすると死んだふりをふるほど臆病なクモです。ですから、素手で触ったり捕まえたりしないかぎり、まず咬まれる心配はありません。万が一咬まれてしまうと、その直後に痛みはほとんどありませんが、しば

こんにちは 保健師です



きれいに咲いていた桜もそろそろ散りゆく季節ですね。桜の季節はあつという間です…4月を迎え、新しいスタートをきられた方も多いのではないのでしょうか？この時期は、慣れない環境で体調を崩されやすい方も多いですので、十分に気を付けてくださいね。

【場所】下北山村保健センター 【問合わせ先】保健センター ☎6-0015

◆こころの健康づくり相談会

育児のことや、不眠や人間関係の悩みなど何でも相談して下さい。また、お話いただいた内容は秘密厳守されます。

【相談員】臨床心理士2名

【日時】4月18日(土)
午前9時～午後3時

【申し込み】要予約

◆(仮)がん検診のススメ

日本人の2人に1人が「がん」になり、3人に1人が「がん」で死亡します。

知っているようで、意外と知らない「がん」のことを、がん検診専門医から学びませんか？

がんで命を落とさないためには、どんなことに気を付ければ良いのでしょうか？検診も講演会も受けなきゃソン！皆さんのご参加をお待ちしております。

【講師】奈良県健康づくりセンター
所長 大石 元医師

【日時】5月14日(木)

午後1時30分～午後3時

【送迎】希望者は申込み

【参加費】無料

※健康スタンプラリー対象事業

◆総合健診のお知らせ

総合健診の申し込みはもうお済みですか？

「自分には関係ないと思っていたけれど、健診でがんだとわかった。早期だったのでよかった。健診を受けておいてよかった」

こういったお声を村の中でもよく耳にします。健診は1年に1回、ご自身の健康について考える良い機会ですので、ぜひ健診を受けてください。なお、まだお申し込みがお済みでない方は保健センターまでお申し込みください。

【健診日時】5月23日(土)

5月24日(日)

5月25日(月)

※25日(月)は午前6時30分より早朝健診を実施。

※詳しくは申し込み用紙をご確認ください

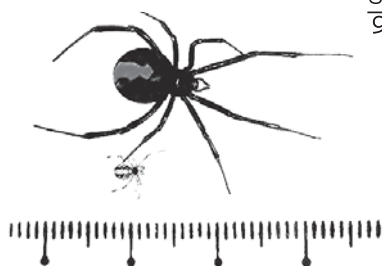
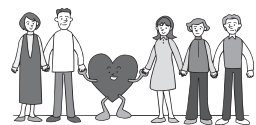
我が国では、少子高齢化が進み現在は、生産年齢人口(20歳～64歳)約4人で1人の高齢者を支えているものが、2025年には、約2人で1人を支えなければならなくなるという「超高齢社会」になると予想されます。このような中、高齢になってもいつまでも住み慣れた地域で心身ともに健康寿命を伸ばすことが大きな課題です。

国の動向として「健康日本21」が国民の健康づくりの柱となり、推進されています。下北山村ではその流れをくみ、長期的・総合的観点から健康づくりの方向性を、平成14年度に

「健康しもきた21計画」(以下、「前計画」という。)を策定し推進してきましたが、前計画が平成26年度で終了することから、「健康しもきた21計画(第2次)」(以下、「本計画」)を策定します。

村報の場で、本計画のご説明を計6回に渡り実施させていただきます。下北山村の特徴や課題を踏まえて方向性を示していきます。

どうぞ、村民の皆さまも日ごろの健康づくりの中で取り入れて頂けると幸いです。



奈良県医師会

らくして(5〜60分位)その部位が痛みだして次第に強くなり、咬まれた手足全体にまで広がっていきます。また、全身の発しん、発熱、嘔気・嘔吐、頭痛、腹痛、呼吸困難、徐脈・頻脈、高血圧などの全身症状が出て重症化する事もあります。非常に稀な事ですが、しかし、子供(特に乳幼児)や高齢者が咬まれると、重症化する恐れがあります。

また、野外で作業する際には、咬まれないために必ず手袋をする必要があります。

セアカゴケグモを見つけた時は、家庭用殺虫剤(ピレスロイド系)や熱湯をかけたり、靴で踏み潰してもかまいません。しかし、一匹でも見つければ周りにも潜んでいる可能性もあり、駆除する必要があります。

21計画

壮年期	・BMI25以上の人の割合を減らす	男 33.3%	男 26%	特定健診問診票
		女 22.9%	女 20%	
高年齢期	・中性脂肪が基準値の人の割合が増える	男 63.7%	男 75%	特定健診問診票
		女 77.8%	女 80%	
高年齢期	・HDLコレステロールが基準値の人の割合が増える	男 94.1%	男 95%	特定健診問診票
		女 95.3%	女 96%	
高年齢期	・血圧の正常域の人の割合が増える	男 38.9%	男 50%	特定健診問診票
		女 33.8%	女 50%	
	・健康教室（特定保健指導）に参加する人の割合が増える	20%	45%	健康づくり推進協議会

対 策

【個人で出来ること】

[乳幼児・少年期]

- ・ 1日3回、規則正しく食事をする
- ・ 好き嫌いなく何でも食べる
- ・ ゆっくり、よくかんで食べる

[壮年期・高年齢期]

- ・ 総合健診を年に1回受診する
- ・ 結果説明会で健診結果の見方の説明を受ける
- ・ 保健事業（健康教室、料理教室、育児サークル、結果説明会等）に参加する
- ・ 自分の適正体重を知る
 - * 自分にとっての適切な食事内容・量を知る
 - * 野菜を多く食べる
 - * 食事と生活習慣病の関係を理解する

【行政が出来ること】

- ・ 乳幼児健診での栄養相談を利用し、食事や食育に関して啓発を行う
- ・ 各種教室、育児サークル等の場で、調理実習等を通じ食事について栄養士に学ぶ場を設ける
- ・ 保育所むし歯予防教室で栄養指導や食育を行う
- ・ 食事バランスガイドの提示と啓発（健康まつり等で栄養に関するパンフレットの配布）
- ・ 食に関する健康教室（育児サークル、高齢者料理教室等）の開催を維持する
- ・ 各健康教室で正しい食生活習慣の知識の普及・啓発を行う
- ・ 総合健診を年に1回は受診するように啓発・普及を行う
- ・ 結果説明会でBMIや血液検査結果を説明すると共に、食生活の大切さを伝える
- ・ 公民館サロン（老人クラブの集会）で、栄養に関する情報提供を行う
- ・ 食生活改善推進員協議会員の活動を支援し、協働して保健事業（食育活動等）を行う

【関係機関で出来ること】

- ・ 保育所、小学校、中学校が給食を通じて、食育を行う
- ・ 中学校が弁当や朝食作りの事業を通して、食の大切さを伝える
- ・ 食生活改善推進員協議会員が、住民に適切な食事量や内容について普及する
 - * 食生活改善推進員による育児サークル・保育所園児・小学生を対象にした食育活動を実施する
 - * 食生活改善推進員による住民対象の料理教室を実施する



健康しもきた

1. 栄養・食生活（食育推進計画）

[下北山村の現状]

本村は山間部に位置するため、車で片道約1時間かけて買い物に行く。そのため食品を1度に大量購入して買い置きすることが多い。

冷蔵庫を複数所有する家庭も多くあり、昔から保存食（干物、漬物、餅等）をよく食べる。

“毎日、飲酒している” “食べる速度が速い” “20歳の時より体重が10kg以上増加している” 者の割合が県と比較して男女とも20%以上高く、“週3回以上朝食を抜く” “週3回以上、夕食後に間食をとる” 者が県と比較して2倍おり、肥満や生活習慣病を引き起こす食生活を送る傾向が顕著にある。結果、肥満度が要指導・要医療の者の割合が男女ともに県内1～3位と高い。

またメタボリックシンドローム該当者の割合も県と比較して20%以上高く、特に女性は予備軍も含め高い。

村の子どもは中学卒業後は村外に出るため、子どもの頃から食に関する正しい技術や知識を習得させ、健康的な食生活が実現できるよう育むことが必要である。

以上のことから、健康づくりに関する栄養・食生活の取組を本村における「食育推進計画」とし、住民・地域・行政が協働して推進する。

行動目標

[乳幼児・少年期]

- ・保護者は子どもの食事の、好き嫌いが無いよう努める
- ・保護者は子どもが食事を3回規則正しくとるよう努める
- ・子どもが食育に関する正しい知識を獲得する
- ・子どもがよくかんで食べる習慣を身につける

[壮年・高齢期]

- ・自分の適正体重を知る
- ・早食いの習慣をやめる
- ・夜食（夕食後の間食）をとる習慣をやめる
- ・塩分摂取量を減らす

数値目標

	目 標	平成26年	目 標 値	現状値の把握方法
乳幼児	・好き嫌いのない乳幼児（1歳6カ月児の割合を増やす）	0%	100%	乳幼児健診問診票
	・3度の食事を規則正しくとる（3歳児）の割合を維持する	100%	100%	乳幼児健診問診票
少年期	・よくかんで食べる児の割合が増える	1.6歳 50%	1.6歳 100%	乳幼児健診問診票
		3歳 25%	3歳 100%	
学童期	・小学生の基準体重の者の割合が増える	92.8%	95%	あゆみ (吉野郡学校)
	・中学生の基準体重の者の割合が増える	83.3%	90%	
壮年期	・早食いでない人の割合を増やす	男 66.7%	男 70%	特定健診問診票
		女 77.5%	女 80%	
高年齢期	・週3回以上朝食をぬく人の割合を減らす	男 11.4%	男 10%	特定健診問診票
		女 13.2%	女 10%	
高年齢期	・塩分摂取量の少ない人が増える	未把握	今後設定	食生活改善推進員 アンケート
		男 19.0%	男 15%	
	・週3回以上、夜食（夕食後の間食）をとる習慣を持つ人の割合を減らす	女 15.2%	女 10%	

下北山村地域おこし 協力隊のつばやき

その27

*工藤延春隊員

こんにちは、工藤ちゃんです。
3月に入ってから雪。その後は気温がぐんぐん上昇し、平年より少し早目の桜満開。となるはずです。

さて春まなの出荷は予定通り2月の第3週で終了し、ハウスの春まなは土曜朝市で菜の花を販売しています。3月下旬には次の作物のための畝立てが完了予定です。その隣のハウスは既に種まき（コマツナ・チンゲンサイ・ネギ・ホウレンソウ・ニンジン・ダイコン）をし、育苗（トマト・ナス・トウガラシ・ピーマン）に使っています。露地ではジャガイモの植付けが終わり、空いたところから順次堆肥や石灰を入れ耕起を進めています。

また今年にはゴマの栽培にあたり契約農家としてゴマ屋さん販売することを計画しています。

畑以外ではサポートきなりが請け負った保健センターのワックスがけと役場駐車場の白線引きを土

日にやらせてもらいました。どんな仕事でも知識と経験に裏付けられた技と心が重要であると改めて痛感しました。

*渡部みなみ隊員

こんにちは、下北春まなシーズンも終わりを迎えようとする中、春まなの菜の花で名残を惜しんでいるみなみです。

さて、3月です。福島出身者として、やはりこの時期、このお話しをしておかなければならないと思います。東日本大震災発生より、丸4年が経過しました。その当時海外にいた私は、せめてもの思いで被災地への募金を募るイベントで頭を丸めたこともありましたが、その髪も今では腰までの長さに。月日が経つのは本当に早いですね。

先日、被災して奈良へ移住（避難）してこられた方々の会に参加させて頂く機会がありました。震災より丸4年ということもあり、大人は落ち着いた生活を取り戻しつつありますが、子ども達は発作的に当時に思い出し震えたりするお子さんもいるとのことでした。震災のショックの大きさが窺えました。

震災は、忘れた頃にやってきま

す。残された私達に出来る事は「忘れないこと」だと思います。それが防災だけではなく、何気ない日々の中にある「そこにあるしあわせ」に感謝しながら今を精一杯生きる、ということに繋がるのではないのでしょうか。

*牧 絢隊員

こんにちは、牧です。

少し前の話になりますが、母校の大学に向かうため、大和上市駅まで奈良交通バスを利用しました。（実は、半年に2、3回くらいのペースで利用しています）村内を運行中、運転手さんが保育園のバスを待つ男の子とお母さんを見つけて二人に手を振りました。男の子はすごく喜んでいました。心がとても温かくなりました。私達が行う過疎地有償運送は、乗り換えなく目的地まで行けることや、バス停でなくとも（例えばご自宅まで）送迎ができること、ある程度運行時間の自由度があることが強みです。しかし、運行の頻度には今の所限界があり、観光客の方には法律の制限があって乗って頂くことができません。

奈良交通バスと村のバスと過疎地有償運送とが走っている現状に、「もったいないのでは？」と

いう考えもあると思うのですが、それぞれが足りない部分をうまく補い合っているのではと思います。

個人的には、奈良交通バスも村のバスも過疎地有償運送も大事にしたいと思っています。

さて、これまでの活動報告をさせて頂きます。過疎地有償運送の利用状況（2月分）ですが、村内運行（バス型0人・タクシー型9人）、熊野方面（バス型41人・タクシー型2人※タクシー型のうち1人は吉野方面）計52人の方にご利用頂きました。会員登録者数は71名と少しずつ増えています。

応援隊の活動としましては、保健センターの床のワックスがけの作業、役場の駐車場と山振センターの白線を引く作業、ご家庭の窓の清掃作業、簡単な家屋の修繕作業等、様々なご依頼を頂きました。暖かくなってきましたので、応援隊のお仕事も増えてくるのではと思います。

新年度を迎え、気持ちを新たに頑張りたいと思います。



白線を引く作業

駐在さん通信



村民の皆さん、はじめまして。
2月27日付で寺垣内駐在所に赴任して参りました濟木良行と申します。

私は、現在44歳で、同じ年の妻と小学6年生の長男・小学3年生の長女の4名でこの寺垣内駐在所に引っ越してきました。

家族共々、これからも宜しくお願ひします。

私は、兼ねてからこの寺垣内駐在所で勤務を希望しており、今回の異動でその夢が叶い、毎日自然の豊かさや村民の皆さんの優しさに包まれながら勤務させてもらっています。

先日、子供達も下北山小学校に初めて登校し、その感想を聞いたところ「楽しかった」と笑顔で帰

って来たのを夫婦そろって喜んでおります。
子供達には、この下北山村の大自然の中をのびのびと育てていって欲したらと期待しております。

★交通事故について

私は、この駐在所に赴任する前まで、吉野警察署さくら庁舎で交通捜査係という部署で勤務しておりました。

交通捜査係というのは、いわゆる「事故係」で、主に交通事故や交通違反に絡む捜査をする部署です。

私の経験で、交通事故に遭わないためのアドバイスをさせていただきます。

この下北山村は国道169号線が走っており、カーブの多い道路です。

故に、事故の多くは、速度の出しすぎにより対向車線にはみ出して、対向車両と正面衝突や、カーブを曲がりきれずにカイドレーンと衝突する事故です。

また、数あるトンネルは、路面がコンクリート舗装でトンネル内はカーブしており、雨の日はスリップ事故が多発しております。

事故を起こさない為、事故に遭わない為には、

- ・シートベルト・ヘルメットを確実に着装する。
- ・速度を出さない。
- ・カーブ手前で減速をする。
- ・雨の日は、晴れの日と走行するより、10キロ〜15キロ減速して走行する。
- ・日没の早めのライト点灯。
- ・夜間歩いて外出する際はピカピカグッズの着用

等が一例ですがあります。

自分の身は自分で守るという心がけが大切です。

この村で事故を起こさない・事故に遭わないように皆さんと一緒に心掛けていきたいのでご協力をお願いします。



こちら 消防北山分署



ついでますね？ 住宅用火災警報器

全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられています

このたび消防署では、それぞれのご家庭で住宅用火災警報器を取付けられているか否かの調査を実施させていただきます。

つきましては、消防署員が各地区の中から任意に選ばれたご家庭に訪問して、警報器の設置状況をお伺いしますので、ご協力をお願いします。

訪問の時期は4月下旬から5月下旬頃までを予定しています。



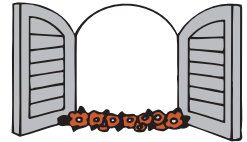
吉野消防署 TEL:0746 (32) 1011 IP:0746 (39) 9107 FAX:0746 (32) 0130

てんいち先生



村長室から

140



私が初めて村長に就任させていただいた12年前は、市町村合併の問題で村が揺れ動いていた時期でした。当時は国を挙げて合併推進の機運が高まっており、折からの財政難もあり、地域活性化の視点より、行財政の効率化に重点が置かれていた様な気がします。結果として合併をせず今日に至っておりますが、村民の皆様と導いた答えは今でも間違っていないと信じています。

私の就任当初のキャッチフレーズは「赤ちゃん誕生10人」。決して無理な数字ではないと考えていましたが、急速に少子化が進み、残念ながら目標を達成することは出来ませんでした。

昨今では私たちの村より人口規模で大きな町や村から、今年も子供が一人も生まれなかったというニュースが聞こえてくるようにさえなりました。2050年には、日本の人口は9000万人を割るという予測もあり、このままでは3人に1人が首都圏に住む時代がきてしまうかもしれません。

しかし、地方が元気でないと国土の発展はありません。日本の国土の多様性は維持していくべきです。その原動力はそれぞれの地域の子供の笑顔、そして元気な声ではないでしょうか。

私は、このたび、4月29日の任期満了をもって退任することになりました。折しも地方創生が叫ばれています。折しも地方創生が叫ばれているおぼあちゃんの周りを、子どもたちが元気に駆け回っている。そんな光景が村のあちこちで見られることを願っています。

最後になりましたが、在任中の村民の皆様のご支援ご協力に感謝申し上げます。

下北山村長 上平一郎

謹んでお悔やみ
申し上げます

田中進 庸さん(浦向)
三月十七日 逝去
享年六十八才

人の動き

平成27年3月1日現在

	先月1日比	前年同日比
人口	1,028人 (-2)	(-28)
男	466人 (-1)	(-17)
女	562人 (-1)	(-11)
世帯数	602戸 (-4)	(-5)

発行 下北山村役場 〒639-3803
奈良県吉野郡下北山村大字寺垣内983番地
☎(代)07468-6-0001
<http://www.vill.shimokitayama.nara.jp/>

※4月号より外国人を含む人数を掲載します

『広げよう 地域に根ざした 思いやり』

民生委員の日

5月12日～5月18日は民生委員・児童委員の活動強化週間です

日頃の活動を地域の皆様に知って頂くための「活動強化週間」として全国的に様々な取り組みが行われます。

村民の皆様も、民生委員・児童委員の活動に、ご理解、ご協力をお願いします。

下北山村民生児童委員協議会